



## 『赤い蠟燭と人魚』

小川 未明/文 酒井 駒子/絵 (偕成社)



人魚の娘が絵を描いた蠟燭には不思議な力があつた。しかし、金に心を奪われた老夫婦は、娘を香具師に売ってしまう。無国籍風の絵をつけ、新しい装いとなった小川未明の代表作。

## 『つみきのいえ』

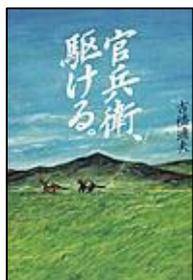
加藤 久仁生/絵 平田 研也/文 (白泉社)



海面がどんどん上がってくる町に住むおじいさん。家が沈むたびに上へと建て増し続け、まるでつみきのようになりました。ある日、大工道具を落としたおじいさんが海に潜ると…。各国映画祭で絶賛されたアニメを絵本化。

## 『官兵衛、駆ける。』

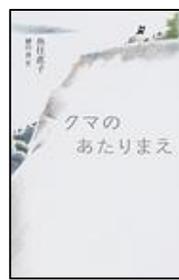
吉橋 通夫/著 (講談社)



信長・秀吉・家康に重用され、生涯の戦で一度も負けなかった黒田官兵衛。天下一の軍師と呼ばれた官兵衛の戦略は「戦わずして勝つ」。その原点はどこにあるのか？ 戦乱の世の中を駆けぬけた、若き官兵衛を鮮烈に描く。

## 『クマのあたりまえ』

魚住 直子/著 植田 真/絵 (ポプラ社)



死んだオスグマと出会う、誰もがみんな死ぬことを知った子グマ。「死なないものに生まれたかったよ」そう思った子グマは、石になろうとしますが…。表題作をはじめ、「生きること」と真摯にむきあう動物たちの7つの物語。

## 『空へ』

いとう みく/作 (小峰書店)



父親の突然の死により、母親、妹との小さなアパートでの3人暮らしがはじまる。誰かを守ろうとすることも、守り切れないと泣くことも辛い。痛みと孤独を背負った少年の成長の物語。

## 『わからん薬学事始』(全3巻)

まはら 三桃/著 大野 八生/装画・本文イラスト (講談社)



久寿理島で採れる材料を使った薬の製造を生業とする女子直系一族「久寿理島製薬」に突然生まれた草太は、15歳になったある日、島の運命を背負って、東京の私立和漢学園へと旅立つ。薬学青春エンターテインメント。

## 『きみの友だち』

重松 清/著 (新潮社)



頭がよくてちょっと意地悪な恵美ちゃんと、何をやってもぐずな由香ちゃんは、ある事故が起きてから誰とも付き合わなくなった。勉強もスポーツも抜群でライバル同士だったブンちゃんとモトくんは、あることがきっかけで全然チグハグになった。それでも……衝突や痛みや喪失を乗り越えて輝く「友だちという関係」を描く最高傑作。\*

## 『校長、お電話です！』

佐川 光晴/著 (双葉社)



問題頻発の中学校を立て直すために、異例の若さで校長に抜擢されたシバロク。そんな矢先、校内からタバコの吸い殻が見つかり、女性教師が自殺未遂を起こす。教師たちは休む間もない激務で…。『小説推理』連載に加筆し書籍化。



『月の影影の海』（上下巻）

小野 不由美/著（新潮社）



「お捜し申し上げました」——女子高生の陽子の許に、ケイキと名乗る男が現れ、跪く。そして海を潜り抜け、地図にない異界へと連れ去った。男とはぐれ一人彷徨（さまよ）う陽子は、出会う者に裏切られ、異形（いぎょう）の獣には襲われる。なぜ異邦（ここ）へ来たのか、戦わねばならないのか。怒濤（どとう）のごとく押し寄せる苦難を前に、故国へ帰還を誓う少女の「生」への執着が迷（ほとぼし）る。シリーズ本編となる衝撃の第一作。\*

『トンネルの森1945』

角野 栄子/著（KADOKAWA）



太平洋戦争のさなか、幼くして母を亡くしたイコは父の再婚相手と生まれたばかりの弟とで疎開した。家のそばにある、暗く大きな森で脱走兵が自殺した噂を耳にし…。『魔女の宅急便』の著者が自らの戦争体験から描き下した物語。

『氷菓』

米澤 穂信/著（KADOKAWA）



何事にも積極的に関わらないことをモットーとする奉太郎は、高校入学と同時に、姉の命令で古典部に入部させられる。さらに、そこで出会った好奇心少女・えるの一言で、彼女の伯父が関わったという三十三年前の事件の真相を推理することになり——。米澤穂信、清冽なデビュー作！\*

『私は存在が空気』

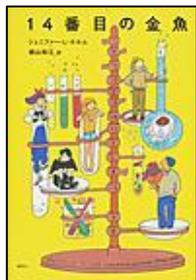
中田 永一/著（祥伝社）



存在感を消してしまった少女。瞬間移動の力を手に入れた引きこもり少年。危険な発火能力を持つ、木造アパートの住人…。普通じゃない私を、受け入れてくれるのは誰？ どこかおかしくて、ちょっぴり切ない、超能力者×恋物語。

『14番目の金魚』

ジェニファー・L.ホルム/作 横山 和江/訳（講談社）



11歳のエリーは、不老不死薬を手に入れた天才科学者と出会う。“世界を変える力”をもった科学者にあこがれはじめるエリーだが…。科学の光と闇に迫る新感覚科学ストーリー。

『世界一のランナー』

エリザベス・レアード/作 石谷 尚子/訳（評論社）



エチオピア生まれのソロモンは、11歳。夢は、世界一のランナーになることだ。ある日、じいちゃんのおともをして出かけた街で事件が起きて…。走ることが大好きな少年とその家族の、熱い思いにあふれた物語。

『クラブアート』

オトフリート=プロイスラー/作 ヘルベルト=ホルツィング/絵  
中村 浩三/訳（偕成社）



荒地の水車場の見習いになった少年クラブアートは、親方から魔法を習うことになる。ドイツの一地方に伝わる伝説を描く壮大な物語。\*

貸し出し中の本は  
予約も出来ます。  
詳しくは職員に  
お尋ねください。

